

IRINO

301595

FBH-603BGKU

自動シャッター一部
KS-C7200A

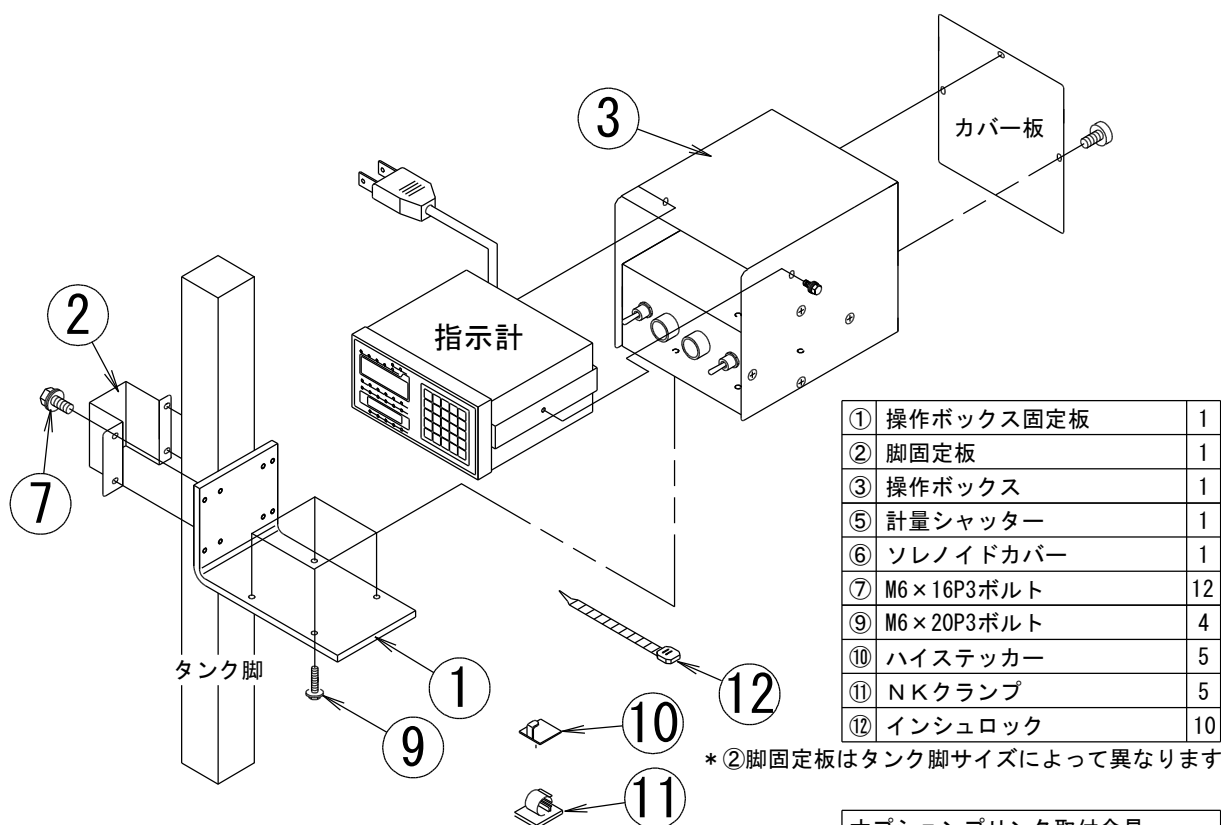


操作ボックス取付方法（自動シャッター）

KS-C7200

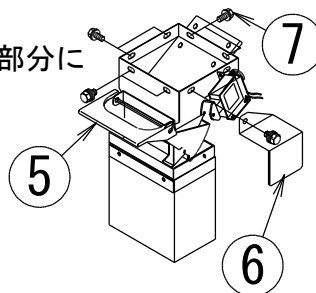
操作ボックスの取り付け方

- 1、タンク脚に①と②を⑦で取り付けてください。
- 2、指示計を③の空スペースに挿入して指示計付属のネジで固定してください。
* 指示計が挿入しにくい場合は③の横面に付いているトラスネジ（4箇所）を緩めて挿入してください。
- 3、①と③を⑨で固定してください。
- 4、配線する時は操作ボックス背面のカバー板を取り外してください。



計量シャッターの取り付け方

- 1、⑦を使用してタンクジョーゴ出口部分に⑤を取り付けてください。
* ⑥は⑤横面のソレノイドカバーに使用してください。



オプションプリンタ取付金具 FBH-OP27		
①	プリンタKJ1000取付金具 O O	1
②	プリンタKJ1000取付金具 O 1	2
③	フランジ付きナット	4
④	接地アダプタ	1

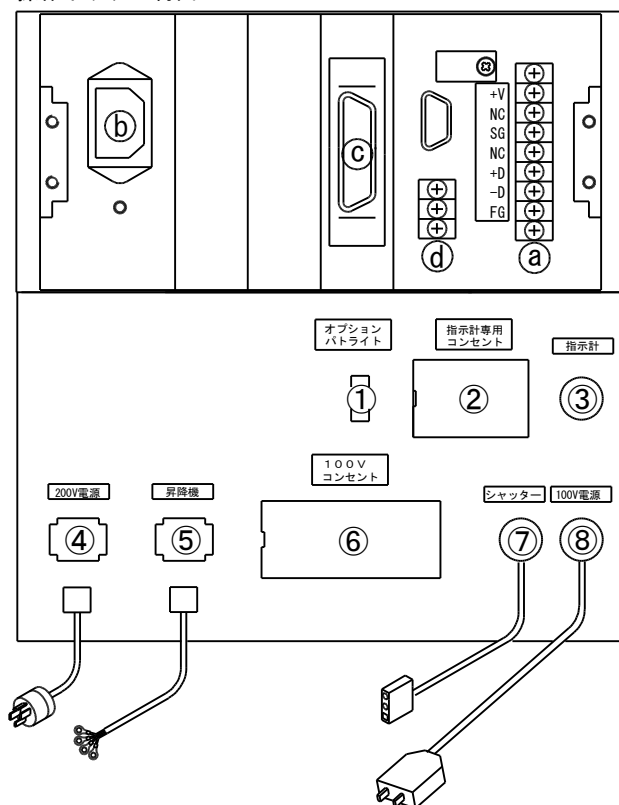
操作ボックス配線方法(自動シャッター)

KS-C7200

配線方法と各部の名称

1、操作ボックス背面のカバー板を取り外して配線を行ってください。

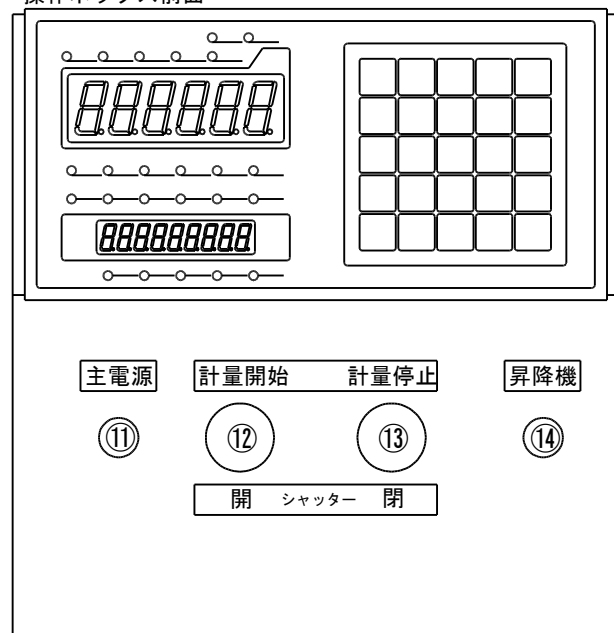
操作ボックス背面



④	ロードセル端子台
	台秤の配線(ロードセルケーブル)を接続してください
⑥	電源ソケット
	電源ケーブルを接続してください
③	外部コネクタ
	③のコネクタを接続してください
①	オプションプリンタ(KJ-1000)端子台
	プリンタ(KJ-1000)の配線を接続してください

①	オプションパトライトコネクタ
	パトライトのコネクタを接続してください
②	指示計専用コンセント
	指示計の電源ケーブルを接続してください
③	指示計コード
	指示計の外部コネクタ ③ に接続してください
④	200V電源コネクタ
	オプションの200V電源ケーブルを接続してください
⑤	昇降機コネクタ
	オプションの昇降機コードを接続してください
⑥	100Vコンセント
	サンプラーや30Kg秤の100V電源として利用してください
⑦	シャッターコード
	計量シャッターへ接続してください
⑧	100V電源コード
	100V電源を供給してください

操作ボックス前面



⑪	主電源OnOffスイッチ
	操作ボックス、指示計のオン/オフを行います
⑫	緑ボタン
	計量シャッターが開き、計量を開始します 定量後の継ぎ足し投入は3秒間長押しでシャッターが開きます
⑬	赤ボタン
	計量シャッターが閉じ、計量を停止します
⑭	昇降機OnOffスイッチ
	昇降機のオン/オフを行います

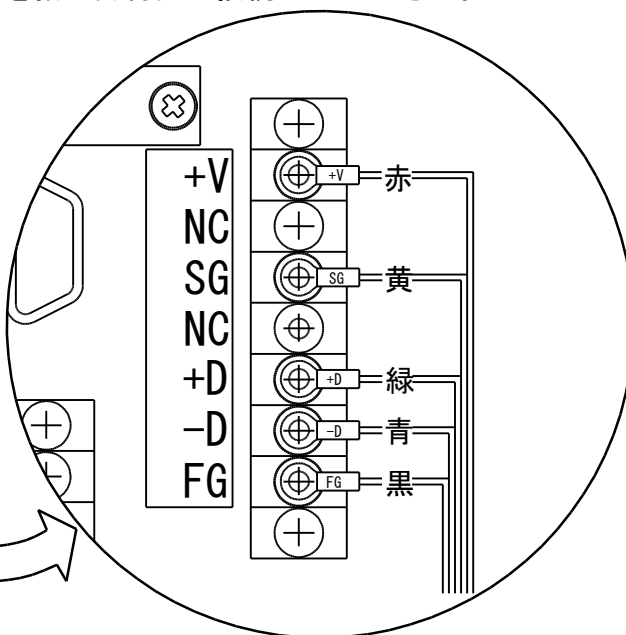
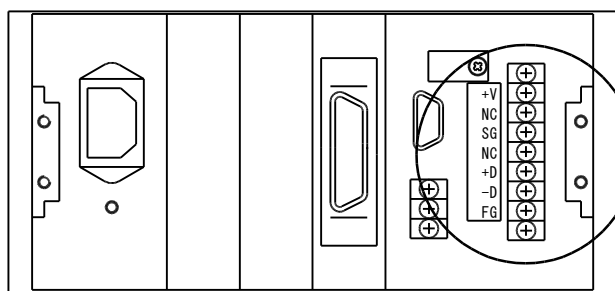
指示計と台秤の接続方法

KS-C7200A

1、台秤からの配線（ロードセルケーブル）を指示計背面に接続してください。

KS-C7200

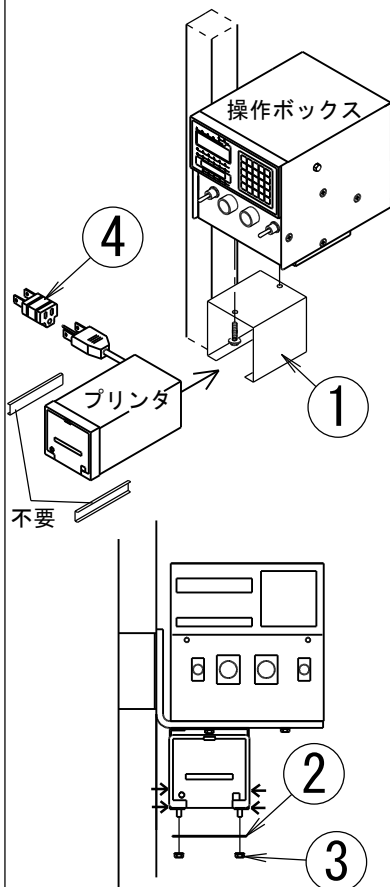
端子台接続になっています。
配線順序に注意してください。



オプションプリンタ取付、配線方法

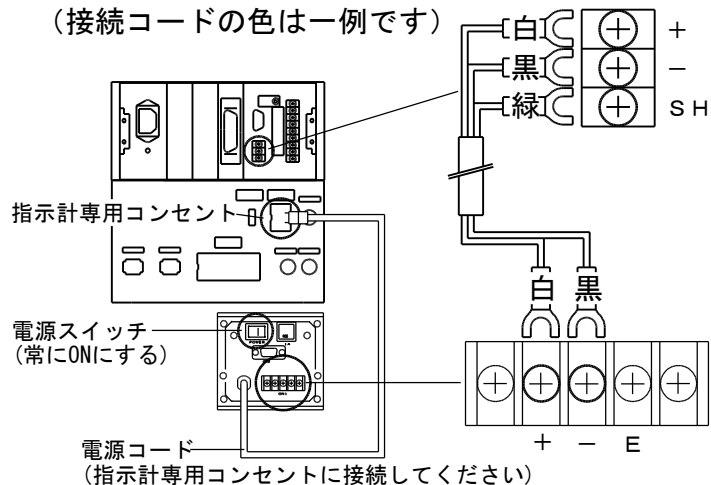
KJ-1000

* オプションプリンタ（KJ-1000）を使用する場合



- 1、プリンタ左右に取り付けてある、取付ブラケットは本製品では不要です。取り外してください。
- 2、操作ボックス下部のボルトを使用して①を取り付けてください。
- 3、左図のようにプリンタを①に挿入してください。
- 4、①と②を③で固定してください。（プリンタを左右から挟みこむようにしっかり固定してください）

5、下図のようにケーブルを接続してください。
（接続コードの色は一例です）



指示計初期設定変更方法

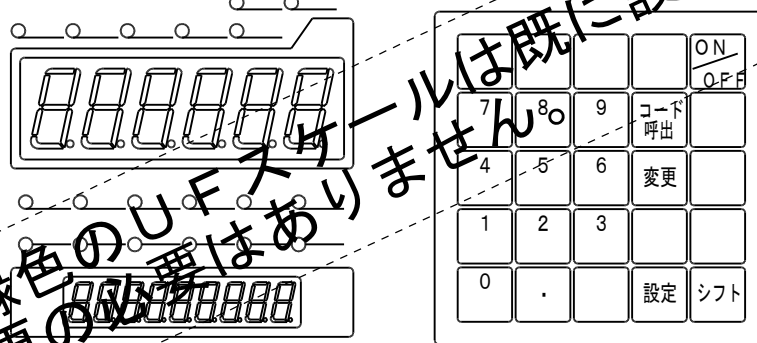
KS-C7200A

タンク計量で必要な設定です。(ファンクションNo. 107を「0→1」に変更)
下記設定を必ず実施してください。設定した内容は電源をOFFにしても保存されます。

KS-C7200指示計

重量
表示部

設定
表示部



台秤が緑色のUFスカー
設定変更の必要はありません。
ケールは既に設定済みです。

通常の重量表示の状態

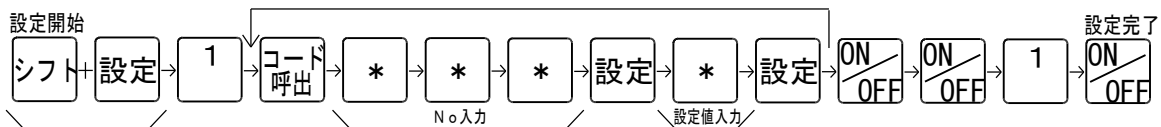
重量表示部

設定表示部

- ② **シフト** キーを押しながら **設定** キーを押す(長押し)。 FUnCnd IF 2P 3b ②
- ③ **1** キーを押す。 0 100 100 dFr-9 ③
- ④ **コード呼出** キーを押す。 100 dFr-9 ④
- ⑤ **1** **0** **7** **設定** キーを順番に押す。 107 i-nd ⑤
- ⑥ **1** **設定** キーを順番に押す。 1 HoPP 107 i-nd ⑥
- ⑦ **ON/OFF** キーを押す。 FUnCnd IF 2P 3b ⑦
- ⑧ **ON/OFF** キーを押す。 SAUEor 14 3n 9r ⑧
- ⑨ **1** キーを押す。保存されるまで数秒待ちます。 Fin 1SH PLEASEoFF ⑨
- ⑩ **ON/OFF** キーを押す。指示計が再起動し設定終了。 888888 8888888888 ⑩

*途中で入力を間違えた場合は **ON/OFF** キーを長押しして表示をOFFにし
再度 **ON/OFF** キーを押して表示をONにして最初から入力をやり直してください。

参考 : 上記設定で自動シャッターが正常に作動しない場合はさらに下記設定を確認してください。



シフト キーを押しながら
設定 キーを押す(長押し)

No	名称	概要	設定値
107	機能選択	指示計機能選択	1 (ホッパー)
130	計量モード	計量モード選択	0 (投入)
134	シーケンスモード	シーケンスモード選択	0 (単純比較)
152	印字モード	印字スタートタイミング設定	0 (手動)

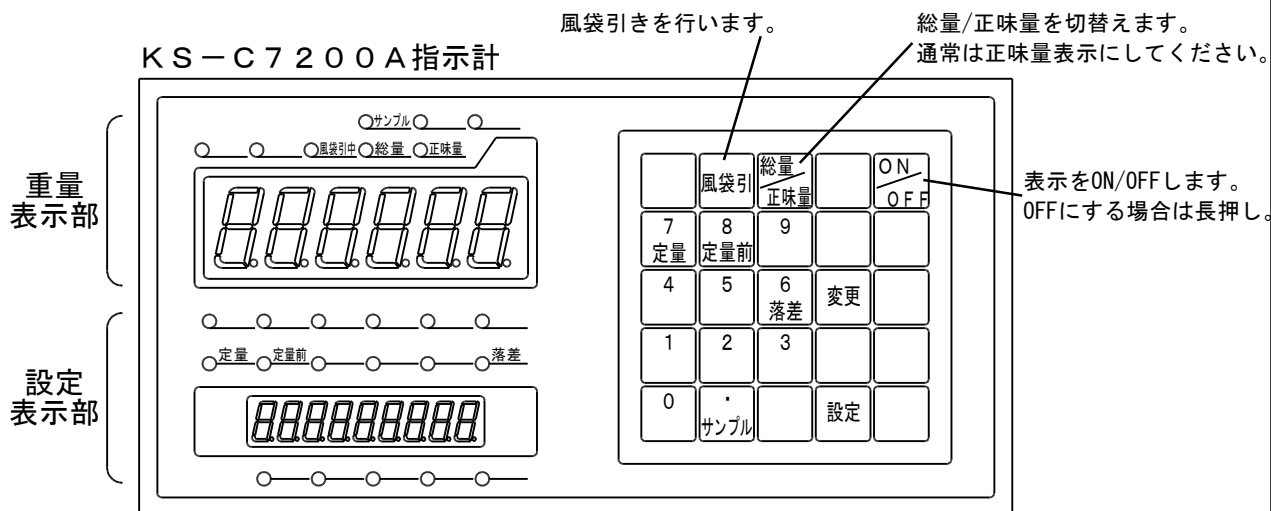
指示計の設定方法（定量、定量前）

KS-C7200A

定量と定量前を設定してください。それ以外の設定項目を変更しないでください。
誤作動の原因になります。設定した内容は電源をOFFにしても保存されています。

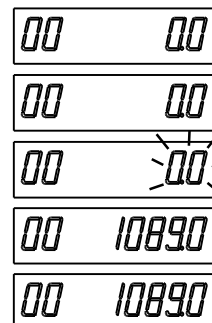
定量・・・出荷重量を設定してください。

定量前・・・大投入から小投入に切り替わる重量です。「定量－5.0kg」で設定してください。



「定量」設定方法 例) 出荷重量が1089.0kgの場合

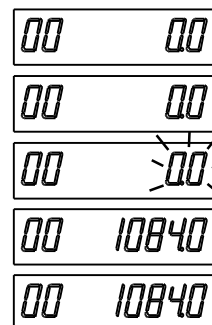
- ① 通常の重量表示の状態
- ② **7 定量** キーを押す。
- ③ **変更** キーを押す。設定表示部の○**定量** が点灯します。
- ④ **1** **0** **8** **9** **.** **0** キーを順番に押して値を1089.0に変更する。
- ⑤ **設定** キーを押す。設定終了です。



「定量前」設定方法 (定量前＝定量－5.0kgで設定してください。)

例) 定量が1089.0kgの場合、 $1089.0 - 5.0 = 1084.0$ 、定量前は1084.0kgになります。

- ① 通常の重量表示の状態
- ② **8 定量前** キーを押す。
- ③ **変更** キーを押す。設定表示部の○**定量前** が点灯します。
- ④ **1** **0** **8** **4** **.** **0** キーを順番に押して値を1084.0に変更する。
- ⑤ **設定** キーを押す。設定終了です。



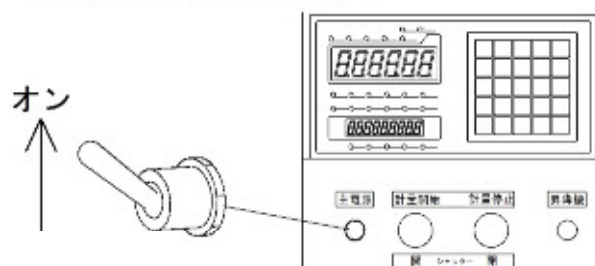
* 途中で入力を間違えた場合は **ON/OFF** キーを長押しして表示をOFFにし

再度 **ON/OFF** キーを押して表示をONにして最初から入力をやり直してください。

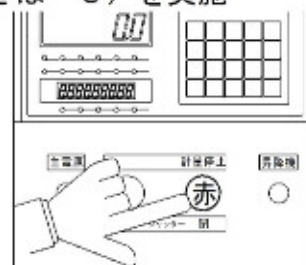
計量方法 (下記図はタンク仕様の場合です)

FBH-603GKU, U-0P03, CF03-1
KS-C7200A

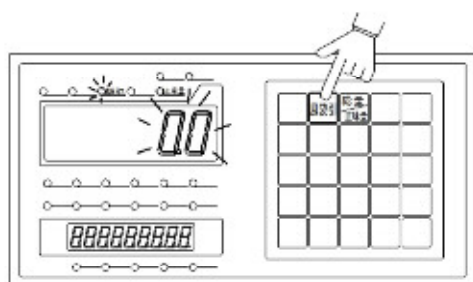
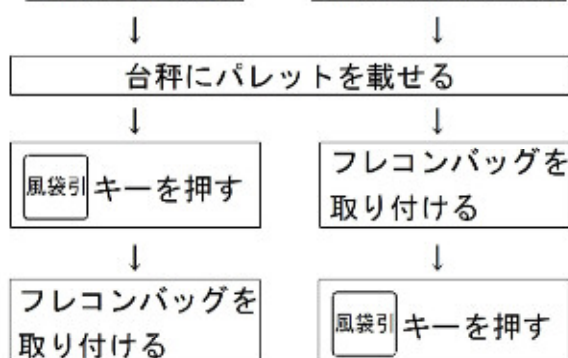
- 1) 操作ボックスの主電源をオンにしてください。
→指示計の電源が入ります。



- 4) 計量を途中で一時停止させたい場合は
赤ボタンを押してください。
→シャッターが閉じ、計量が停止します。
計量を再開するときは 3) を実施
してください。

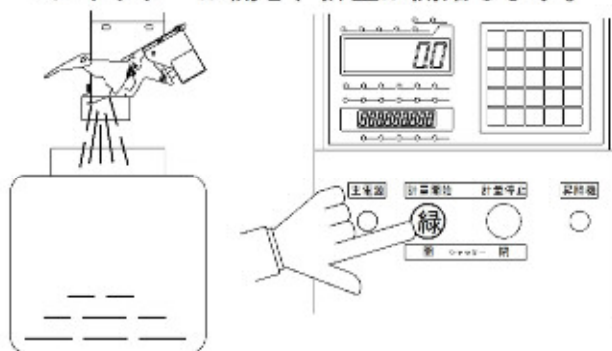


- 2) 下記の作業順序に注意してください。
風袋重量を含む場合 風袋重量を含まない場合



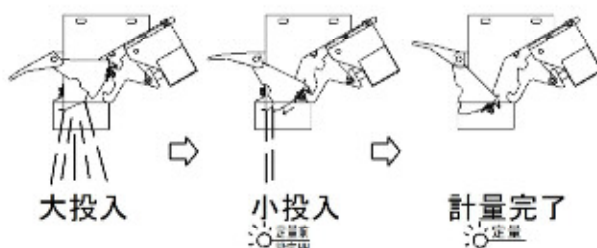
- * 「0」にならない場合は、総量表示になっています。
総量表示キーを押して正味表示にしてください。

- 3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が開始します。

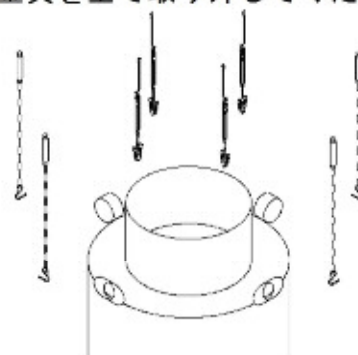


- 5) 定量の数キロ前でシャッターが大投入から
小投入に切り替わります。

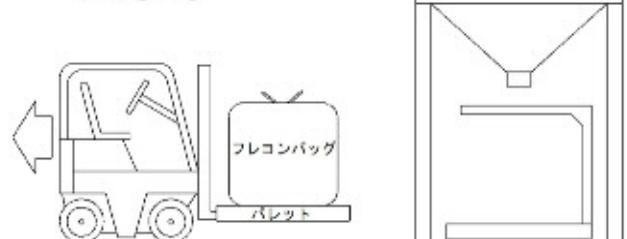
- 6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ
計量が完了します。



- 7) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの
吊り下げ金具を全て取り外してください。



- 8) パレットごとフレコンバッグを取り出して
ください。



- 9) 再度計量を行う場合は 2) から
作業を繰り返してください。

オプションプリンタ設定方法

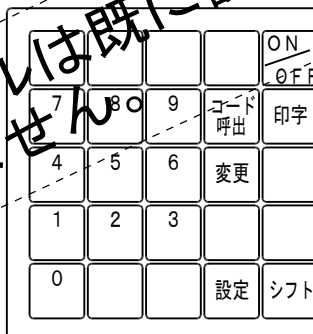
KJ-1000

外付けプリンタ（KJ-1000）を使用する場合は下記設定が必要です。
指示計の **印字** キーを押すとプリンタが作動する場合は設定済みなので変更する必要はありません。

KS-C7200指示計

重量
表示部

設定
表示部



台秤が緑色のUFスキャナールは既に設定済みです。
設定変更の必要はありません。

設定開始

シフト+設定 → 2 → コード呼出 → 2 → 0 → 1 → 設定 → 2 → 設定

シフトキーを押しながら
設定キーを押す(長押し)

202 1000 → コード呼出 → 2 → 0 → 2 → 設定 → 3 → 設定

203 1000 → コード呼出 → 2 → 0 → 3 → 設定 → 1 → 設定

204 1000 → コード呼出 → 2 → 0 → 4 → 設定 → 0 → 設定

205 1000 → コード呼出 → 2 → 0 → 5 → 設定 → 0 → 設定

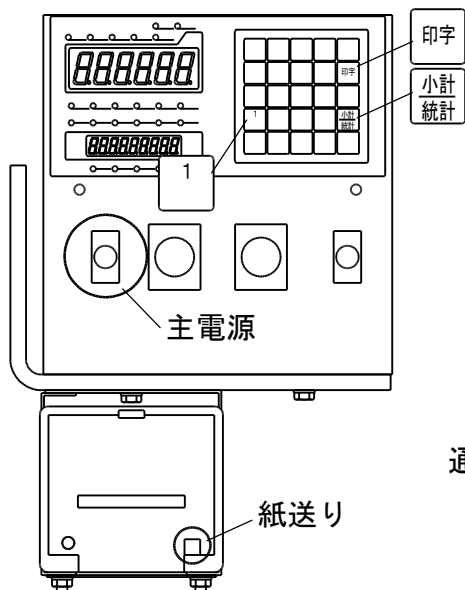
*途中で入力を間違えた場合は **ON/OFF** キーを押して表示をOFFにし再度 **ON/OFF** キーを押して表示をONにして最初から入力やり直してください。

設定完了

No	名称	概要	設定値
201	通信モード	ポート接続先設定	2 (KJ-1000)
202	ボーレート	通信ボーレート	3 (4800)
203	キャラクタビット長	通信ビット長	1 (8bit)
204	パリティビット	通信パリティビット	0 (無し)
205	ストップビット	通信ストップビット	0 (1ビット)

オプションプリンタ操作方法

KJ-1000



- 1、操作ボックスの主電源をONにしてください。
(指示計、プリンタの電源が入ります)
- 2、KS-C7200指示計の「印字」キーを押すと
印字がはじまります。

DATA	2013/03/08		
No.	ITEM No.	TIME	
	SET (kg)	NET (kg)	
1	0	14:54	
	1089.0	1089.0	

印字した時点の日付、時刻

通し番号

定量値

正味量

- 3、紙送りする場合はプリンタの「紙送り」ボタンを押してください。

印字例 1 (累積印字)

DATA	2013-03-08		
No.	ITEM No.	TIME	
	SET (kg)	NET (kg)	
1	0	14:54	
	1089.0	1089.0	
2	0	15:34	
	1089.0	1089.0	
3	0	15:59	
	1089.0	1089.0	
SUB (BATCH)	TOTAL		
DATA	2013-03-08		
TIME	16:00		
NET. WT	3267.0kg		
COUNT	3		

印字 (1回目計量)

印字 (2回目計量)

印字 (3回目計量)

(合計印字)

小計 統計 1

キーを順に押す

印字例 2 (都度印字)

DATA	2013-03-08		
No.	ITEM No.	TIME	
	SET (kg)	NET (kg)	
1	0	14:54	
	1089.0	1089.0	
SUB (BATCH)	TOTAL		
DATA	2013-03-08		
TIME	15:00		
NET. WT	1089.0kg		
COUNT	1		

印字

(合計印字)

小計 統計 1

キーを順に押す

* 毎回、日付時間を印刷する必要がある場合は
都度印字をしてください。

St-CLr

* 合計印字後に左記画面になったら「1」キーを押すと計量画面に戻ります。

19 3n

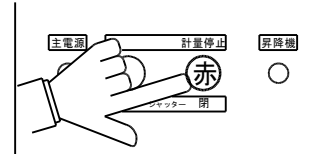
作業上の注意点

定量付近で台秤上に乗りフレコン内の米を整える場合、以下の点に気を付けて作業を行ってください。

1) 定量付近で台秤上に乗る場合は

→必ず計量を停止して台秤上に乗るようにしてください。

計量を停止しないで人が台秤に乗ると、人の体重で定量に達してしまい誤作動を引き起こすことがあります。

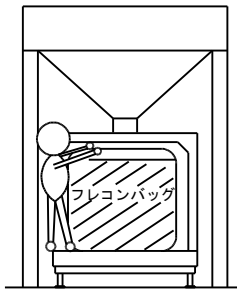


2) 定量付近で計量を再開する場合は

→必ず台秤上から人が降りて、重量値が安定してから計量を再開してください。

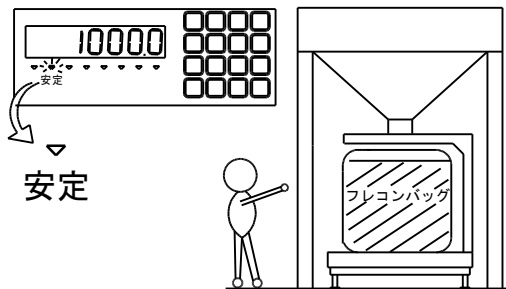
人が乗った状態で計量を再開したり、重量が安定していない状態で計量を再開すると、定量値でシャッターが閉まらないことがあります。

1)



→必ず計量を停止して
台秤上に乗る

2)



→必ず台秤上から降りる
→重量が安定してから計量を再開する

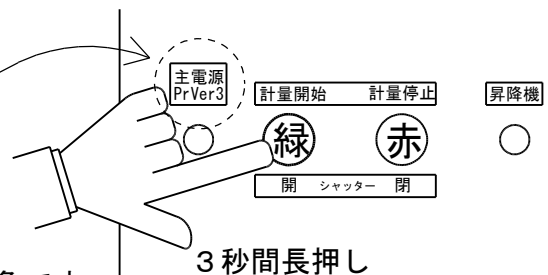
* 計量開始ボタンを押してもシャッターが開かない時・・・

→安全ロック機能が働いています。数秒待ってから計量開始ボタンを押してください。
計量シャッターが開き計量が再開されます。

定量後に継ぎ足し投入する場合 (PrVer3のみ)。

定量後に継ぎ足し投入する場合は計量開始ボタンを通常押ししてもシャッターが開きません。

→計量開始ボタンを3秒間長押しすると計量シャッターが開きます。



* 主電源の下にPrVer3と表示しているものが対象です。

お客様メモ

[illegible]

